

# 第7回 次世代スマートメーター制度検討会 フォローアップ項目に対する報告

---

2021年12月17日

東京電力パワーグリッド株式会社



- アグリゲーションサービスなど社会の新しい価値創造の構築を目指し、培った運用技術やデータを社外へ開放し、DP・DIからDXへの進化を図っていく

## DX

(Digital Transformation)

**<アセット・データ提供サービス>**  
DIで培った運用技術、連携PFを  
社外へ開放し、社会の新たな  
価値を創造

## DI

(Digital Integration)

**<社外とつながり監視・制御>**  
DER主力電源下の**系統安定性**と  
**電力品質**を確保する  
高度なグリッドの実現

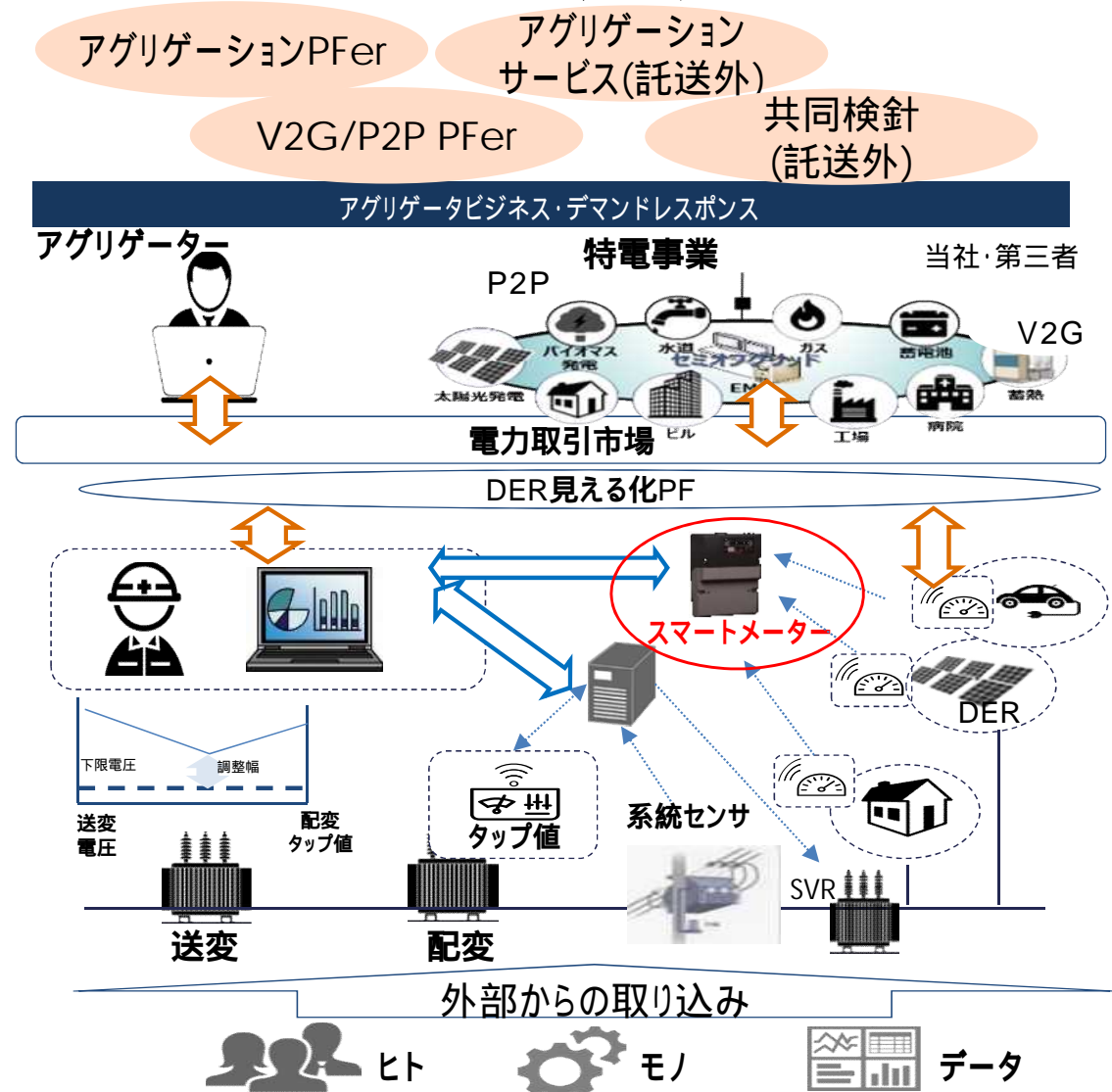
## DP

(Digital Patch)

**<社内・社外を見える化>**  
再エネ大量導入が進む中での  
**系統安定性**と**電力品質**の見える化



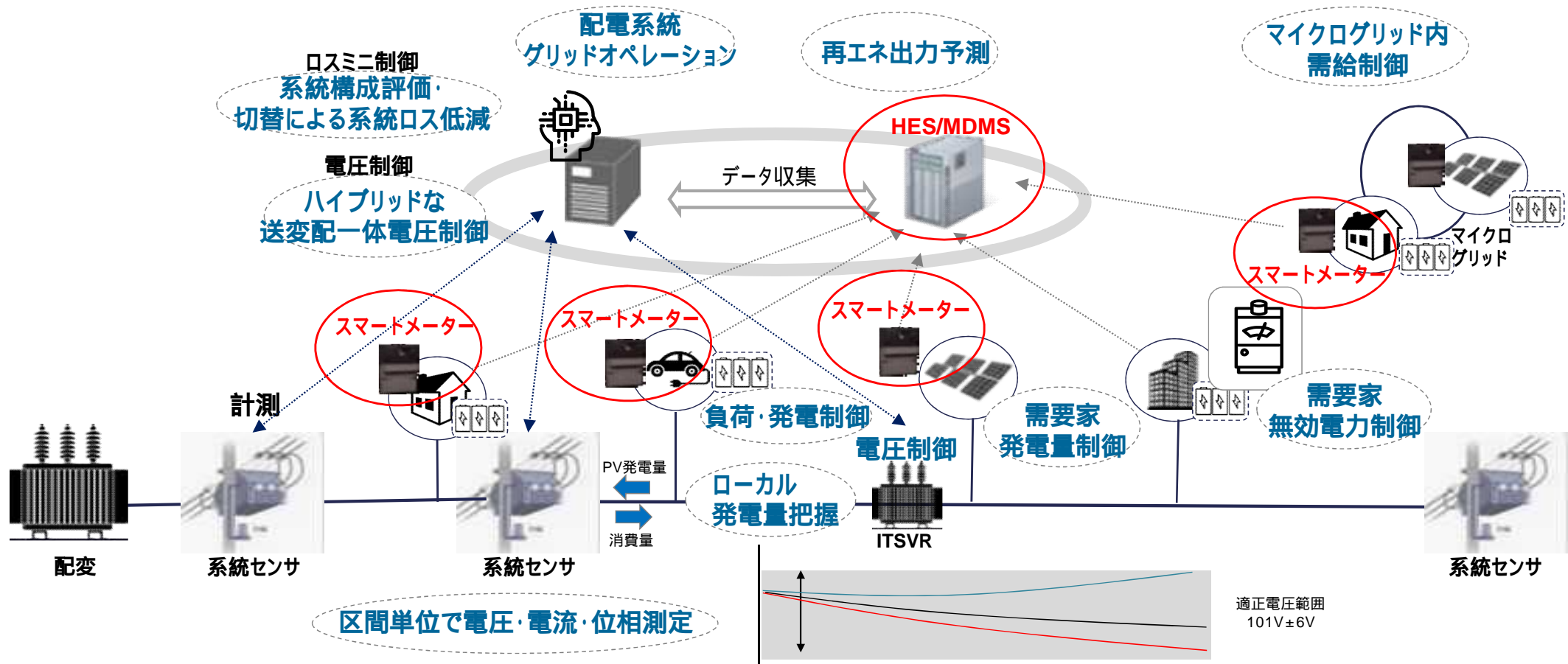
## <DXイメージ>



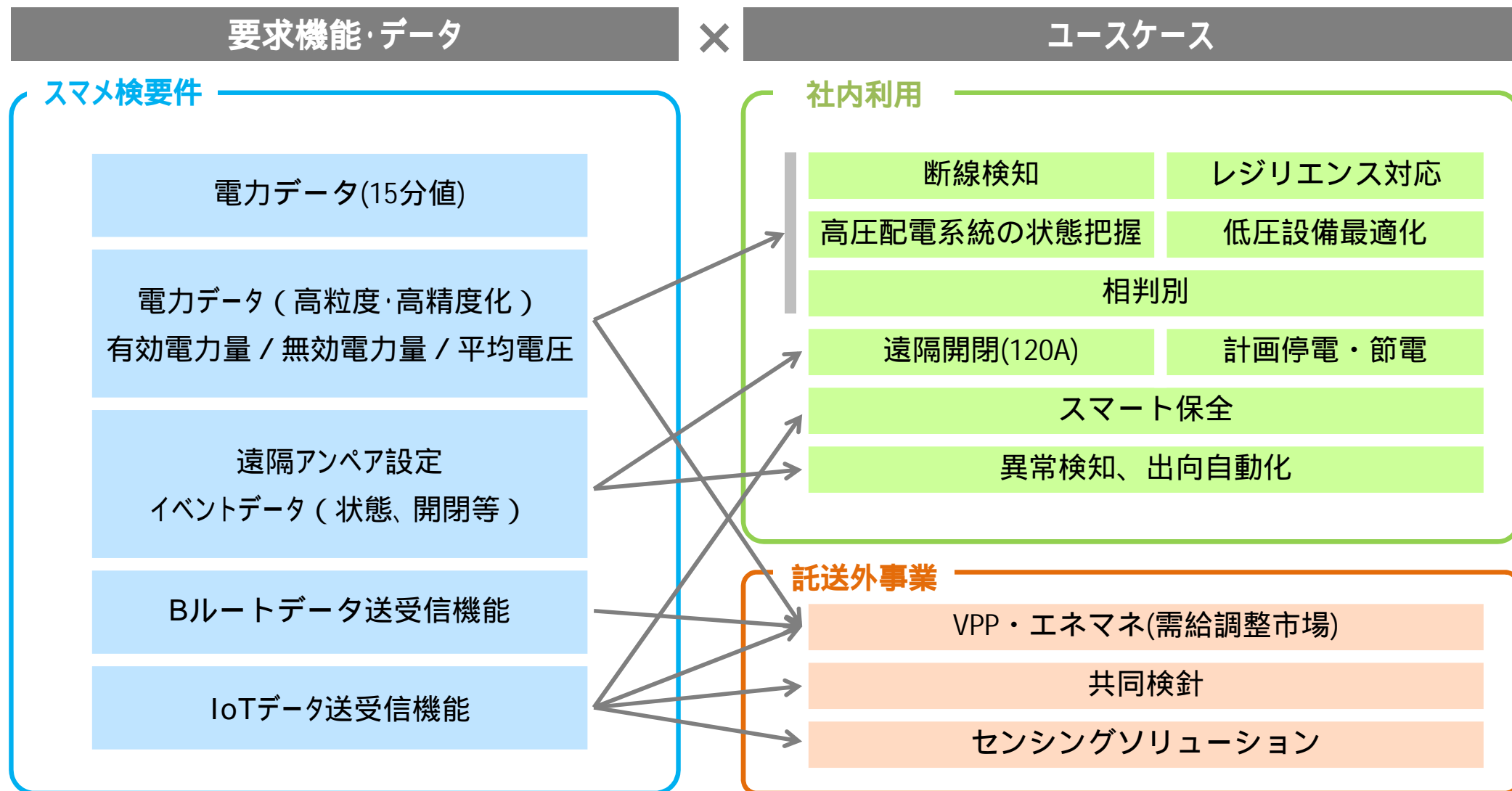
# DSO領域のTo-Be像（配電系統領域）



- 系統センサのデータを主としつつ、スマートメーターのデータも補完的に活用することで、配電系統の電気の状態をよりきめ細やかに把握し、また再生可能エネルギーの拡大に備えた取り組みを実施



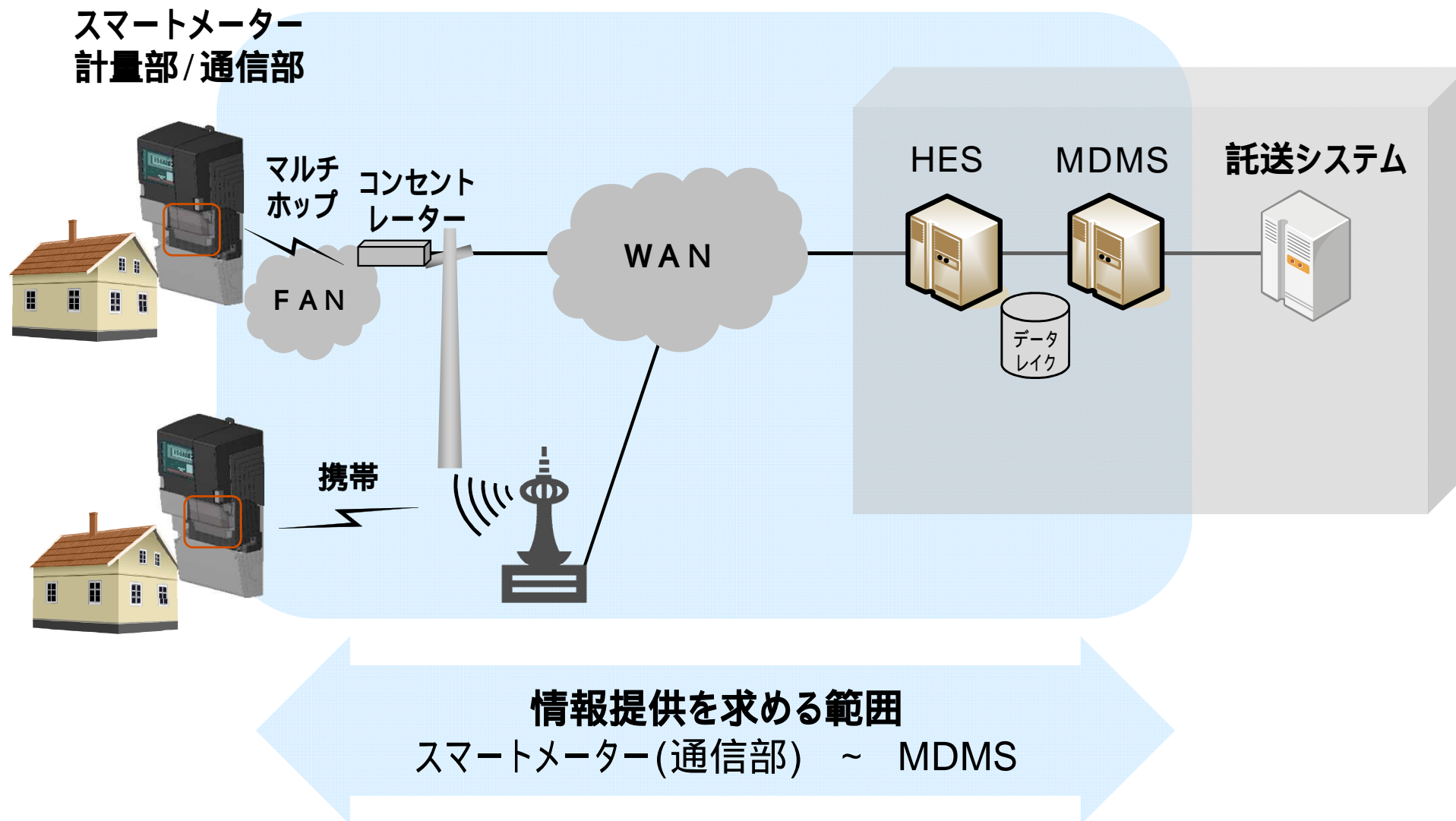
- 次世代スマートメーター制度検討会で議論・提示された要件・機能を実装することで、社内利用及び託送外事業への活用が可能



# RFIにて情報提供を求める範囲



## ■ 計量部を除くスマートメーターシステムに関する情報提供を依頼

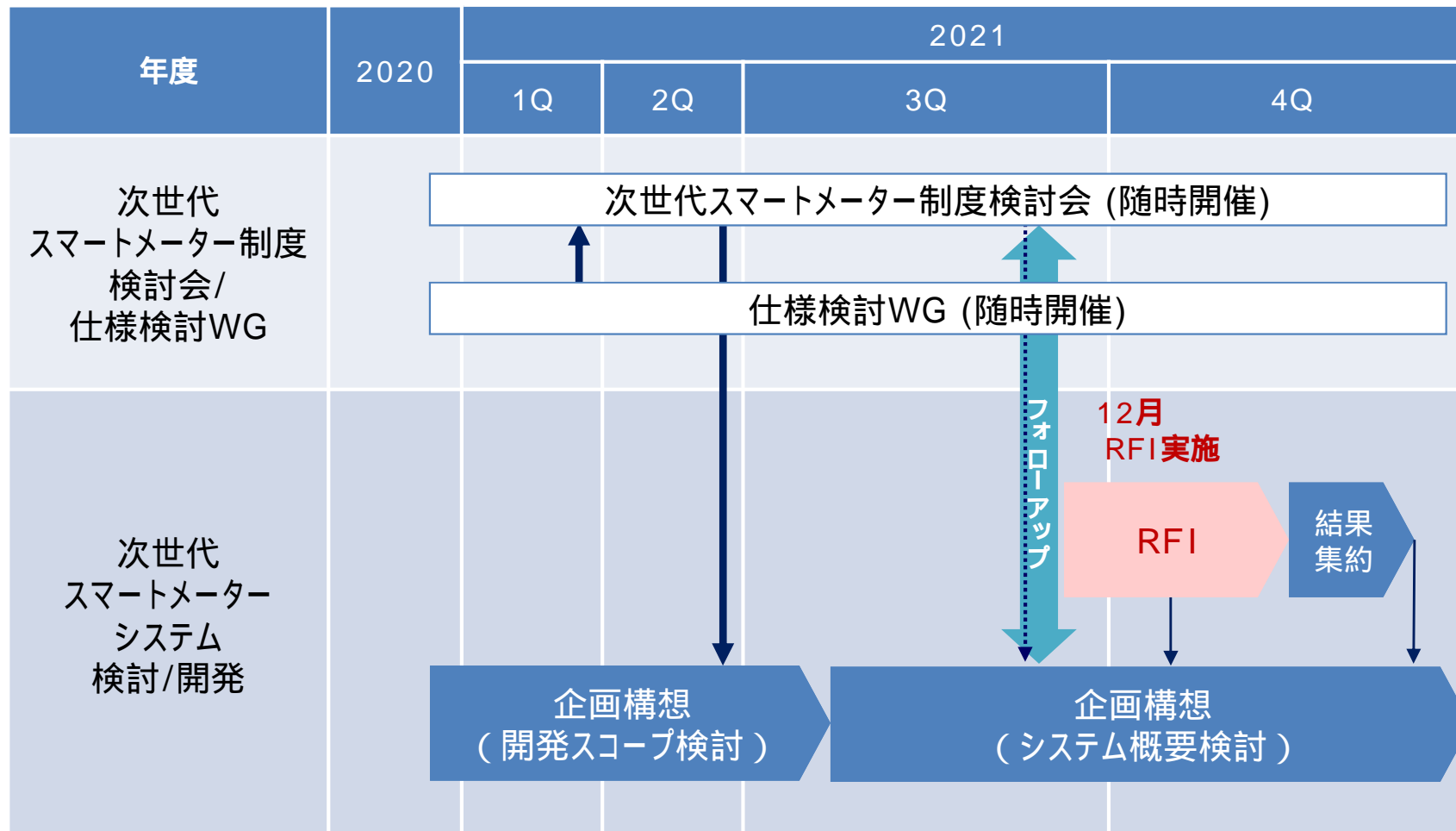


# RFIに関するスケジュール



## RFI実施計画

- 2021年12月 RFI実施
- 2022年 3月 システム概要明確化





## ■ 以下項目にて情報提供を依頼予定

項目	内容
次世代 スマートメーター 通信システムの 構成概要	スマートメーターシステム全体構成
	通信方式（マルチホップ、携帯、その他通信方式の組み合わせ方法等）
	スマートメーター通信部、コンセントレーター、HES、MDMS等の機能概要
	構成装置毎の諸元等
新旧システム 移行方法	現行システムから次世代システムへのシステム移行方法
スケジュール	要件定義、設計、開発、ベンダ試験
技術資料	システム構成における通信方式および各装置の技術資料（実現性確認のための資料）
概算見積り	調達単位ごとの概算コスト(イニシャル、ランニング)
会社概要	情報提供いただく会社情報（RFI、システム導入実績など）

## ■ 次世代システムへの要件等、情報提供に必要な情報を当社からインプットする

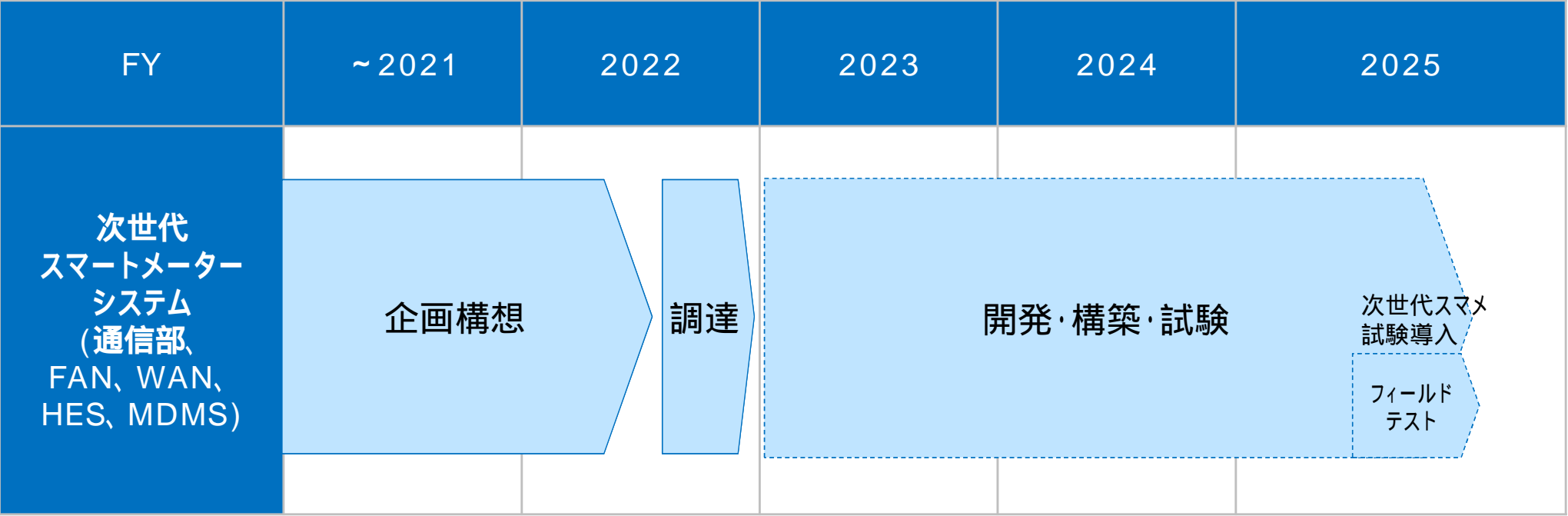
No.	項目
1	現行システム概要（機能、品質、構成等）
2	現行FAN通信方式および、通信方式ごとのSM・CR台数
3	次世代システムに求める当社要件
4	現行/次世代ユースケース概算トラフィック量
5	新旧システムの移行シナリオ案
6	次世代システム構築スケジュール案
7	その他、検討に必要な情報



# 調達・開発・導入までのスケジュール案



- 現行システムの高い品質を維持しつつ、次世代システムへの移行を実現するため、移行性を踏まえた実現方法も考慮し、公平な調達を行った上で次世代システム導入を志向
- RFIで提供いただいた情報は、将来の拡張性も含めた技術面やコスト面などから総合的に評価



RFIや詳細検討結果により、変更となる可能性あり



以 上